

Japan Velo 日本展開に向けて

エminentパートナーズ株式会社

1. エminentパートナーズ株式会社概要
2. EuroVelo導入の経緯とJapanVelo構築
3. ご協力お願いの趣旨 台北サイクルショー出展
4. EuroVeloの特徴とルート評価アプリについて
5. EuroVeloと
欧州各国の個別のサイクリングルートとの関係
6. EuroVeloの特徴とJapanVelo展開
(EuroVelo7実走調査を踏まえて)
7. 参考資料: EuroVelo導入効果、
AsiaVeloネットワーク構築に向けて



なぜ、EuroVelo？

自転車で何日も旅がしたい！でも……

日本中サイクリングマップはたくさんあるけど……

なぜみんな細切れ？
なぜ、つながってないの？



サイクリングロードはたくさんあるのに、なんでみんなロードバイク？
ママチャリとか
家族みんなでは楽しめないの？

それにしても
サイクリングルートってどんな基準で
決めているんだろう？

もしかして
バラバラ？

🚲 おすすめのライドプラン



つくば喜ヶ峯
りんりんロード

【漫遊ライド】足尾山・筑波山 2峰攻略
ライド

難易度 ★★★★★

距離 59km 標高標高 1,014m

「見晴らしの丘 真壁 うり坊」を起点に、「筑波山」と筑波山の「足尾山」をヒルクライムするライド。特に足尾山山頂からは絶景が広がります。疲れた身体は、うり坊おすすめの自然産品を食べて癒します。



大光・ひたし海浜
シーサイドルート

水戸梅ライド

難易度 ★★★★★

距離 10km 標高標高 71m

日本三名園のひとつ兼楽園の「水戸の梅まつり」で、春の訪れを感じるプラン。駅周辺のレンタサイクルを使えば、水戸市内の観光地を手軽に自転車で行くことができます。



奥久慈温泉
ヒルクライムルート

【漫遊ライド】那珂川・久慈川グルメラ
イド

難易度 ★★★★★

距離 68km 標高標高 430m

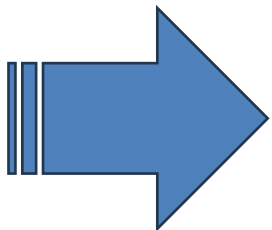
茨城県央・県北を流れる二大河川周辺を走るコース。市町村ごとにグルメが楽しめるのでカロリーオーバー間違いなし。



誰もが楽しめて、
誰でも安心して、
家族でサイクリングや
長めの自転車旅ができる
ルートやマップがあればよ
いの……

日本中がサイクリングルートでつながって
ロードバイクだけでなくいろんな自転車で楽しめて
同じ評価基準でサイクリングルートが作られて
いたら、きっと大人も子供もだれもが安心して
サイクリングを楽しめるようになる

一部の人だけでなく
いろんな人が
もっとサイクリングを楽しみ、
自転車旅を楽しみ、
日本だけでなく、海外からも
サイクリストが訪れるようになれば、
サイクルツーリズムはもっと
地方経済にも環境にも
貢献できるのではないかな



EuroVeloネットワークのように、日本でも **1つの評価基準**のもと、
誰もがいろんな自転車で、場所で、自転車旅や家族サイクリングを楽しめるように、
日本中をサイクリングネットワークでつなげて「**JapanVelo**」を作りたい

ECFと独占契約を結び、日本でサイクリングルートネットワーク構築に着手しました。

エミネントパートナーズとJapanVelo

2023年12月、ヨーロッパサイクリスト連盟 (European Cyclists' Federation, ECF)と日本にでのEuro Veloルート評価システム導入における独占契約を結びました。

当社は、日本におけるサイクリングルートの評価と整備提案を通じて、世界中のサイクリストが安心して、日本に訪れ、サイクリングを楽しんでいただけるような環境を創出することを目指しています。

- Japan Veloは、ECFの許可を受け日本で使用する登録商標
- 数年後にNPO組織に移行予定

<以下をミッションとします>

1. グローバル水準の客観的評価手法を用い、日本サイクルートを評価・認定し、ルートとその周辺情報を発信することで、国内外のサイクリストを誘致し、地方経済に貢献します。
2. Japan Velo整備で、自転車に乗れる日本国内5,800万人もの方々に自転車をレジャーとして楽しんでいただけるような安全で快適な走行環境を作っていくことを目指します。
3. Japan Velo構築で、NCRや自治体で推進されている既存のルートにサイクリストを誘導します。
4. 地球環境とウェルビーイングに貢献します。

Euro Veloルート評価の特徴

自転車利用者・サイクリストの目線でネットワークを構築

- 属人的でなく**客観的に評価**（評価アプリの使用）
- **実際に□転□を使□する□々の□線で整備**
- **ユーザー毎に情報提供**: コアサイクリスト向け、レジャー派向け、完璧な路面が必要なスポーツバイクやトレーラー愛好者向けなど
- **様々な路面**に対応: 舗装、グラベルなど



どこでも同じ基準で評価
利用者はそれぞれのニーズに合わせて自転車ルートを利用 >
それぞれの利用者層の**利用者数の拡大**が図れる

- 路面情報のみならず、総合的に情報提供
 - a) **観光情報** 自然、文化、歴史、イベントなど
 - b) **お役立ち情報** 休憩所、ホテル、食事、レンタル自転車、荷物移送



ルートという**線的**な情報だけでなく、地域の**面的なネットワーク**を評価 > 走るだけでなく**地域資源にサイクリストを誘導**できる

Euro Velo ルート評価の主な項目

認定ではルートを客観的な指標に基づき評価（アプリを使用）

Euro Velo評価項目：道路

1. ルートの連続性
法的な制限、降車の必要性、建設中、階段、川や海（自転車を乗せられるフェリーの有無）、車しか横断できない交差点の有無、
2. 公共交通機関とのリンク
距離、自転車積載）
3. 道路における自転車の走行性
制限速度、交通量、危険な交差点、自転車走行レーン、自転車歩行者道、矢羽根、緑道などの道路の種類
4. 路面
舗装、グラベル、ダート、路面の穴や亀裂など
5. 傾斜
獲得標高、斜度など

上記、評価結果に従い、路面や走行距離、獲得標高などを総合的に判断し、どのターゲット層に適したルートなの明確になる

Euro Velo評価項目：魅力度

1. 魅力的な景観、文化的・自然的な魅力、歴史的建造物、旧道、立寄先（体験スポット、ミュージアムなど）
2. 匂い、騒音、ダスト、危険動物などの有無

Euro Velo評価項目：サービス

1. 道案内の看板、道の駅など休憩トイレスポット、自転車修理サービスやショップの有無
2. 飲食：サイクルフレンドリーな食堂、宿泊施設、水

Euro Velo評価項目：マーケティングとツアー提案

1. ルートマップやルートデータの提供、観光情報センター
2. ウェブサイトなどでの情報提供
3. ルートを使用したサイクリングツアー提案

なぜ、Japan Veloか？ Euro Velo評価に準拠することで；

サイクリストにとってのメリット

1. 欧米のサイクリストを誘致
グローバル水準のルート認定で、**欧米からのサイクリストを誘致**しやすくなります。
2. 舗装面だけでなくさまざまな路面を評価
舗装路のみならず、現在、**アドベンチャートラベル** で注目を浴びる未舗装の道路、グラベル、ダート、すべての路面を評価。
3. ロードからママチャリまで、すべての自転車利用者に対応
スポーツサイクリングを楽しむ方から、ママチャリなどを使う一般の方々、また、障害のある方々にも対応するタンデムバイク、そしてファミリー向けのトレーナなど、走行可能かどうかの判断が可能になります。
4. ルート上の必要な情報を面的に入手可能
ルートのみならず、ルート上の休憩スポット、立ち寄りスポット、自転車関連施設、現地までの交通手段、公共交通機関によるワープなど、必要な情報を入手できます。

経済的なメリット

1. オーバーツーリズム に対応
日本全国津々浦々にまでルートを引くことで、都市部から地方部に旅行客を誘導できます。
2. 通したい場所にサイクリストを誘導
地域をより深く知ってもらえる場所やお金を落としてもらえる場所に誘導し、地域ビジネスに貢献します
3. 既存の観光、旅行関係事業の拡大 を後押し
サイクリング専門の旅行会社はもちろん、一般の旅行会社にとっても、初心者用、家族用にルートを切り取ることが可能であることから、一般客を対象としたツアーを造成できます
4. 新規ビジネスの創出と新規参入 が可能
レンタル自転車やサイクルフレンドリーな宿泊施設など、サイクリング関連産業への新規ビジネス参入が可能になります
5. 他の交通手段から自転車への移行
鉄道やフェリーなど、乗客の増加

NCR評価委員である古倉宗治氏コメントから抜粋

1. インバウンドに的確に対応したコースの状況や評価を含めた情報提供
2. 国際的かつ客観的な評価基準に基づく、**世界とつながるコースの自転車環境の評価** がなされた認証されたコースを提供できる。
3. 必要な地域の面的な自転車環境の総合評価を提供する。
4. 来訪者の範疇に応じた的確な自転車環境の総合評価を含めた情報を提供する。
5. 自転車環境のみではなく、**地域資源に関する面的な情報をセットで提供** する。
6. 道の駅、村の駅などを入れ込んで、それらの評価を含めて枝ネットワークの形成など範囲を拡大できる。

JapanVeloネットワークにご参加いただくことで以下が可能になります。

1. 評価の視点や判断基準がヨーロッパと同じなので、**欧米のサイクリストがわかりやすく安心して**、日本でサイクリングが楽しめるようになります。
2. EuroVeloのウェブサイトからJapanVeloまで誘引し、**インバウンド客を誘致**できます。
3. JapanVeloネットワーク開発初期にご参加いただければ、貴地域にJapanVeloルートを作成し、独自に推進するサイクルネットワークとJapanVeloとを結びつけることが可能です。
4. 舗装路のみならず、砂利道などもルートに入れられますので、ルートの**開発途中でも JapanVeloネットワークに参加でき**、随時更新し、延伸していくことが可能です。



EuroVeloJapanVeloサイトでの紹介＞インバウンドサイクリストの誘致



The European Certification Standard (ECS), ECF's methodology to assess the quality of long-distance cycle routes and identify priority developments will be applied in Japan. Eminent Partners Co. Ltd. signed an agreement with ECF on the use of the methodology to evaluate cycle routes in Japan, aiming to create a safe and attractive environment for cyclists.



Japan explores routes to enhance its cycling infrastructure.

ECS is a unique and comprehensive methodology designed by the European Cyclists' Federation to assess the quality of cycle routes, based on a set of minimum criteria that long-distance routes need to fulfil to meet the needs of different user groups. These criteria encompass infrastructure, services for cyclists and communication aspects. Read more on the dedicated page and in the technical manual: [Quality criteria for long-distance cycle routes](#).

The agreement for the licensing of the ECS' intellectual property rights was signed on 12 December 2023. It grants Eminent Partners the only official use of ECS in Japan. The company, in collaboration with the Japan Cycle Tourism Promotion Association and local authorities, intends to evaluate Japanese cycle routes using the minimum quality criteria set out in the methodology, and to promote the best scoring routes both domestically and internationally under the label 'JapanVelo'. Full-scale route surveys will begin in the summer of 2024.



Eminent Partners has set an ambitious program to meet these goals. The company plans to train Japanese route inspectors to carry out surveys according to the ECS methodology, assess cycle routes in Japan, suggest improvements when they do not meet some of the required quality criteria and disseminate detailed information on the cycle routes through a web platform. The route surveys will also allow Eminent Partners to provide municipalities and organisations managing the routes with an understanding of the current situation, an identification of key issues and proposals for improvement.

We have asked Eminent Partners a few questions on their motivations for using ECS and the benefits they have gained from this collaboration so far. Get to know them better in the answers below:

• What convinced you to use ECS in Japan?

• What convinced you to use ECS in Japan?

First of all, ECS is an international methodology that provides a standard for route evaluation across different countries. ECS can meet diverse needs with the quality criteria that are set according to cycling skills, physical fitness, and general user needs. Additionally, ECS is based on numerical and objective evaluation of safety factors such as traffic volume and speed.

We believe that using ECS to evaluate cycle routes in Japan will contribute to addressing the diversity of cyclists and making Japan an international destination for cycle travel. Furthermore, by evaluating Japanese routes based on such a global standard, we believe that we can provide objective and easy-to-understand information to overseas cyclists, thereby increasing their interest in Japanese routes.

•日本で EuroVelo評価を使用することを決めた理由は？

まず、ECS は、さまざまな国でルート評価の基準を提供する国際的な方法論です。ECS は、サイクリングスキル、体力、一般的なユーザーのニーズに応じて設定された品質基準により、さまざまなニーズに対応できます。さらに、ECS は、交通量や速度などの安全要因を数値的かつ客観的に評価することに基づいています。

ECSを活用して日本の自転車ルート进行评估することは、サイクリストの多様性への対応や、日本を国際的な自転車旅行の目的地にすることに貢献できると考えています。さらに、このような世界基準に基づいて日本のルート进行评估することで、海外のサイクリストに客観的でわかりやすい情報を提供し、日本のルートへの関心を高めることができると考えています。

JapanVelo構築へのステップ

JapanVeloウェブサイト構築へのステップ

1. JapanVeloルートのイメージを日本地図に表示(この時点では決定ルートではない。)
2. 自治体様のご意向や周辺施設などの立ち寄り先などを鑑み、候補ルートを決
3. ルート調査を実施(今回は20~30キロほどをエミネットの負担で実施)
エミネットから貴団体に報告書をご提出
4. ご希望に応じて、JapanVelo公式サイトに掲載
※候補ルートすべて一気にではなく、例えば20キロとか短い距離でまず調査を行いながら、延伸していくイメージで進める
5. 最終的に全国をカバーしつつ;
6. (全国規模で、)先にご説明した EuroVelo Plannerのようなウェブサイトを構築し、サイクリストの誘致を推進していく
7. (貴地域において、) EuroVeloの各国サイト(例ポルトガルのサイト)のように、連携を取りながらウェブを充実させ、サイクリストの誘致を図っていく

※当面はEminent Partnersウェブに掲載し、それを貴組織・団体でご紹介いただく形で。



Euro Veloとは

Euro Veloとは、欧州全体で27年前に正式始動したプロジェクト。**ECF(欧州サイクリスト連盟)**が主導。

2018年、EUが補助金制度を導入し、ルート整備にかかる費用の75%を補助するとしたことで、急速に整備が進み、現在では17ルート。**約93,000キロ結ぶルート**となっています。

現時点でこのうちの**66%が認証**されており、残り34%が、開発中、または計画中であり、2030年に全ルートの開発を目指す。



NECC 16カ国

(National EuroVelo Coordination Centre)

フィンランド、アイルランド、デンマーク、**ドイツ**、オランダ、ベルギー、フランス、スペイン、スイス、オーストリア、ハンガリー、スロベニア、クロアチア、セルビア、ギリシャ、イタリア

NEC 8カ国

(National EuroVelo Coordinator)

ノルウェー、英国、ポルトガル、**チェコ**、スロバキア、ボスニア&ヘルツェゴビナ、トルコ

※ドイツとイタリアは今年、NECCに昇格

NECCとNECの違いは、一言でいうと
国(資金と国内ガバナンス、国境間の調整)の
支援の有無か
→独立した国家コンソーシアムでの
取り組みかどうか

NECC(NEC)の主な役割

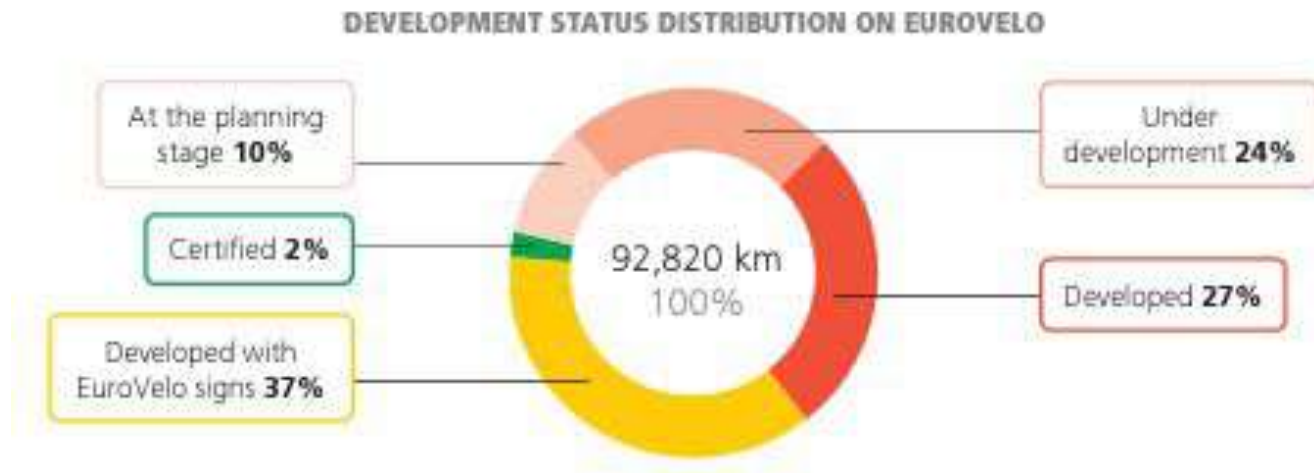
1. 自国における**ユーロヴェロ・ルートの日常的な管理責任**を負う。
 - ・ ルート・インフラの整備
 - ・ 公共交通機関の接続改善
 - ・ サービス
 - ・ マーケティングとプロモーション
 - ・ 利用状況のモニタリングと評価
 - ・ 組織化／アドボカシー
2. ユーロヴェロ全体の発展、およびユーロヴェロと**ECFの全体的な目標達成に貢献**
3. ユーロヴェロ総会を通じ、ユーロヴェロのガバナンスに参画し、**ユーロヴェロ理事会メンバーを任命**。
4. ECFに対し、ユーロヴェロの中央調整に関する**年会費を納入**する。

EuroVelo開発状況:最初から 100%完璧なルートである必要はない。需要や予算に合わせて段階的に構築

現17路線は、ヨーロッパ全土で92,820km(2023年調査時)
66%がサイクリング可能な状態にある。

2030年までにユーロベロ路線の34%残りを開発予定

開発状況はわかりやすいよう色分けされて表示されている



出典: EuroVelo Route Development Status Report (2023)

	2 %	Certified: 認証済みの区間 ECFの欧州認証規格に沿っていると認定された区間。
	37 %	Developed with EuroVelo signs: EuroVelo標識の整備された開発済み区間
	27 %	Developed: 開発済み区間 それぞれの国の基準(国・地域レベル)に沿って標識が設置されている区間。 情報提供のウェブがある。
	24 %	Under Development: 開発途上の区間。例) 交通量が多い→公共交通区間等の利用を推奨
	10 %	Planning Stage: 計画中の区間 インターネット上で詳細な情報が公開されていない未開発の区間。危険な区間が含まれている可能性もある。サイクリストは公共交通機関の利用を推奨。

特徴1

Euro Veloと各国・地域のサイクルルートと連携

さまざまな国で、造成されたナショナルサイクルルートや各自治体で整備開発されたルートを、Euro Veloで**大動脈のように広範囲に繋ぎ**、地域間相互でサイクリストの誘致を促進します。



特徴2

開発中のルートも整備状況を明示

認証済み、整備済み、開発中、計画中など

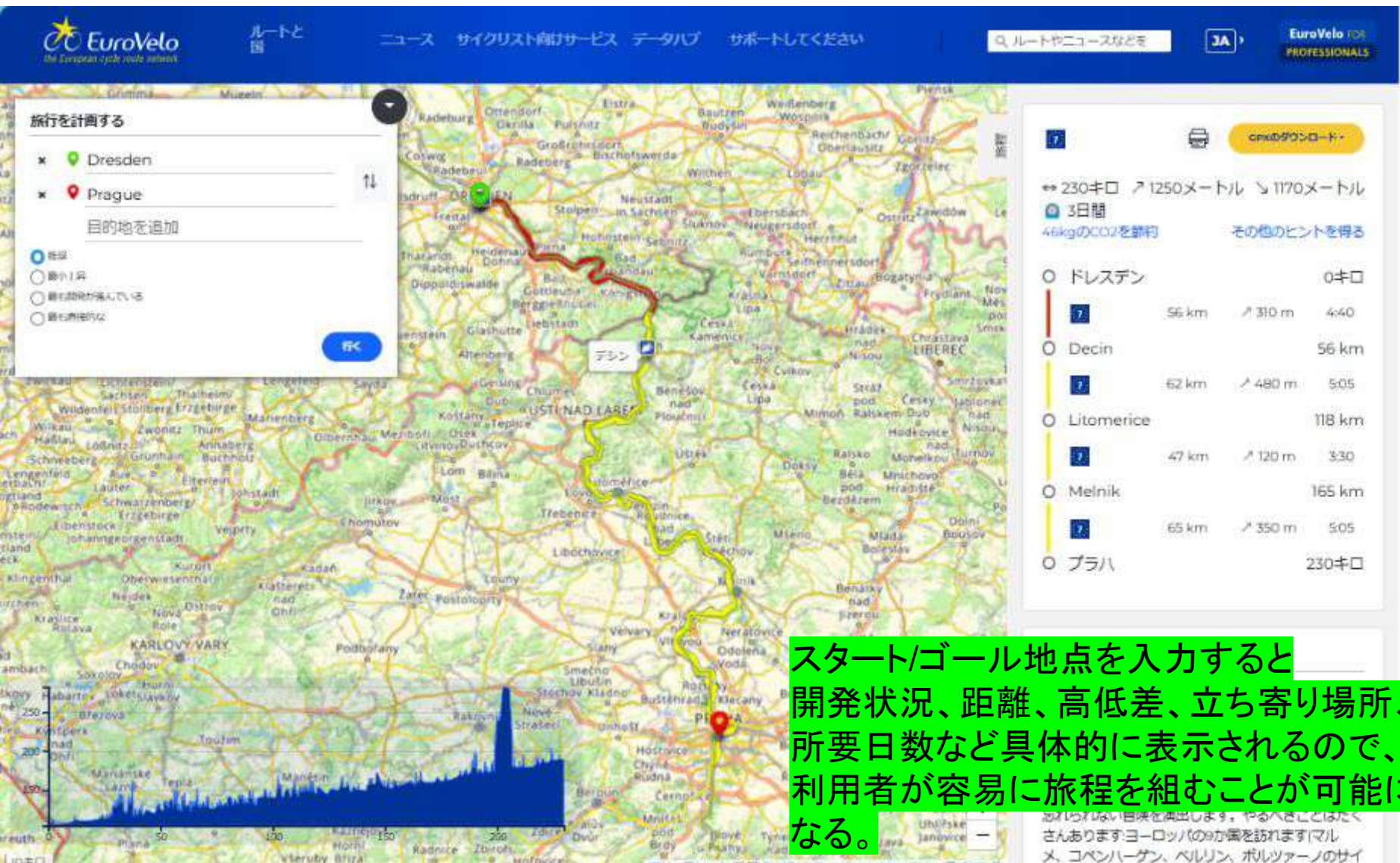
JapanVeloの全体像をまとめて情報提供。単体のルートではなく、**全体がどのようにつながっているのか、今後つながっていくのかわかる**。このような視点は、特にインバウンドサイクリストのように日本を大きく周遊したいと考えるサイクリストにとっては重要な要素となる

JapanVeloもその考え方を踏襲 同様に展開予定

各地域のルートもJapanVeloと交差、一部重複させることで、それぞれ個別の地域のサイクルルートへの誘客が望めます。

EuroVeloルートプランナー（ECFが提供）

サイクリスト目線でルート进行评估し、情報を提供



サイクリスト目線の
情報が提供されている

- ・開発情報
- ・距離
- ・アップダウン
- ・走行日数
- ・見どころ
- ・歴史/文化的視点
- ・食事/休憩/ホテル
- ・公共交通へのリンクなど

-  自然遺産
-  ユネスコの世界遺産
-  文化遺産
-  料理の楽しみ
-  マリタイム・ヘリテージ/ライン川/ムーズ
-  その他の観光スポット
-  バスステーション
-  鉄道駅
-  モビリティ情報センター

スタート/ゴール地点を入力すると
開発状況、距離、高低差、立ち寄り場所、
所要日数など具体的に表示されるので、
利用者が容易に旅程を組むことが可能になる。

国・地方レベルで、より詳細な情報を提供（例）ポルトガル

各国・地域と密接に連携し、詳細な情報を提供サイクリストを面的にサポート。

ヨーロッパレベルと国内レベルをつなぐ組織（NECC: National EuroVelo Coordination Center）が存在し、欧州自転車ルート ネットワークの成功の鍵となっています。NECC は、それぞれの国における EuroVelo の実施、調整、品質保証、コミュニケーションに責任を持ち、EuroVelo と ECF のガバナンスと全体的な目標の達成に貢献しています。

NECC:ポルトガル

<https://euroveloportugal.com/en/>





EuroVelo 1

Atlantic Coast Route

PORTO AND THE NORTH

Section 30: Caminha / Valença (29 km)

Section 28: Vila do Conde / Esposende (30 km)

Section 27: Porto (Gaia) / Vila do Conde (35 km)

Section 26: Ovar / Porto (Gaia) (44 km)

Section 25: Aveiro - Ovar (39 km)

CENTRAL PORTUGAL

Section 24: Praia de Mira / Aveiro (27 km)

Section 23: Figueira da Foz / Praia de Mira (45 km)

Section 22: Marinha das Ondas / Figueira da Foz (45 km)

Section 21: Praia da Vieira / Marinha das Ondas (26 km)

Section 20: Nazaré / Praia da Vieira (39 km)

Section 19: Foz do Arelho / Nazaré (30 km)

Section 18: Peniche / Foz do Arelho (52 km)

Section 17: Santa Cruz / Peniche (50 km)

Section 16: Azenhas do Mar / Santa Cruz (56 km)

Section 15: Lisboa / Azenhas do Mar (57 km)

Section 14: Cabo Espichel / Almada (39 km)

LISBON REGION

Section 15: Lisboa / Azenhas do Mar (57 km)

Section 15 - Lisbon

Lisboa / Azenhas do Mar

Map Download GPX Points of Interest

57 km 931 m 893 m ± 2 m 269 m



地図、GPXデータ、その他の情報(POI)を提供

- ・観光情報
- ・バイクショップ
- ・宿泊施設
- ・公共交通(電車・船)

Points of Interest

Heritage: 80 >

Nature: 13 >

Heritage: 80 >

Beach: 35 >

Information: 13 >

Bike Shops: 22 >

Accommodation - Campsite: 2 >

Accommodation - Youth Hostels: 2 >

Transport - Train: 14 >

Transport - Boat: 2 >

EuroVelo7 ルート試走 プラハからドレスデンまで



↔ 230km
Saved 46kg CO2

↗ 1170m

↘ 1250m

 3 days
[Get more tips](#)

○ Prague

0 km



65 km

↗ 320 m

5:00

○ Melnik

65 km



47 km

↗ 110 m

3:30

○ Litomerice

112 km



62 km

↗ 460 m

5:00

○ Decin

174 km



56 km

↗ 280 m

4:35

○ Dresden

230 km

今回は
4日間
かけて
走行

1日
50~70km

EuroVelo7 サービス提供の具体例 レンタル自転車

Adventure travel in Europe

CYKLUS TRAILS

About Activity Types Travel Info Gallery Blog Contact [Send a request](#)

Home » Activity Types » BIKE TOURS from one to multi days, from easy to challenging... » ELBE RIVER TOUR from Prague to Dresden

ELBE RIVER TOUR from Prague to Dresden

Bike Tour along Vltava & Elbe rivers from Czech Republic to Germany





TRIP HIGHLIGHTS!

-  Enjoy biking along the breathtaking Vltava & Elbe rivers.
-  Discover the powerful changes that have made Czech history.
-  Explore the hidden castles & towns of the Czech countryside.
-  See two amazing & historical cities Prague & Dresden.
-  Recharge and refresh at beer gardens along the river.
-  Taste the local Czech cuisine.



[SELF-GUIDED](#)[GUIDED TOUR](#)[Reservation](#)

► **SELF-GUIDED BIKE TRIP** along Elbe river from Prague to Dresden, 230 km/145 miles (Apr - Oct)

Prague - Dresden bike trip is a fantastic adventure, that combines beautiful scenery with cultural and historical experiences. Explore the beautiful valley of Vltava and Elbe rivers on the biking holiday from Prague to the romantic city Dresden in southern Germany.

エッセンシャル・パッケージ

個人旅行に最適

ドレスデンからプラハまで、またはその逆も可

クラシック・パッケージ

ドレスデンのホテルからの自転車ピックアップサービスも付いている。

プレミアム・パッケージ

地図、ホテル間の毎日の荷物配送、自転車ピックアップなど、すべてを手配。身軽に旅をしたい人向け。

<https://www.cyklustrails.com/bike-tours-one-multi-days-easy-challenging/elbe-river-tour-prague-dresden>

エッセンシャル・パッケージの内容

- 含まれるもの
バイクレンタル、ヘルメット、鍵、盗難保険、バイクフィッティング、パニアバック、ルートナビゲーションアプリ、サイクルフレンドリーホテルの紹介(自分で予約する)、基本的なメールのやり取り、旅行中のキャリーバックや荷物などの保管、税金
- 同じ230キロを日数を変えることで難易度を変える
- 日数によって、金額が変わる
(レンタル自転車の日数が増える)

ESSENTIAL PACKAGE - Includes all the basic essentials you'll need for your trip. Perfect for independent travellers. You can take direct train with bicycle from Dresden to Prague.			
Duration (biking days)	Level	Price per person	Includes
3-4	Moderate	140 €* * includes 10€ deposit	- Trekking/Hybrid bike rental, lock, helmet, repair kit, bike lights - Anti-theft & anti-break bike insurance - Bike fitting according to your size before the trip - Rear waterproof panniers (Ortlieb - 2x20 liters)
5	Easy	170 €	- Self-guided tour directions with the navigation app for your smartphone - Recommendations on bike-friendly hotels, pensions & campings (to make your self-booking convenient) - Essential Planning & Email communication
6	Easy	200 €	- Safe storage of your extra belongings/suitcases while you travel at our office - All taxes not included: single supplement fee 40€

チェコの取り組み(1) 4つのユーロヴェロ

チェコ全土をカバーする基幹ルート、長距離ルート、接続ルートで構成。
上記ルートは、様々な地元の観光ルートや周回、マウンテンバイク用コースによって補完。

ユーロヴェロ・サイクリングルート(4、7、9、13)

鉄のカーテンルート(EV13):
旧鉄のカーテンの跡地をチェコ、バイエルン、オーストリアの領土を
交互に走る

琥珀ルート(EV9):
バルト海から南部のアドリア海まで続く

エルベ川ルート(EV7 Sun Route):
ドイツ⇄チェコ、美しい景色、歴史、建築を楽しめ、初心者や子供も
楽しめる

ライン川・ルート(EV4):
セントラルヨーロッパを走る。商業、歴史、文化などを感じることができる

サイクリスト向けに様々なサービスを展開

Cyclists welcome
The best for cyclists in the Czech Republic

The certification of the quality of services for cycle routes is intended for accommodation and catering facilities, campsites, cafes, bistros, castles, chateaux, wineries and other tourist destinations. We are looking for such devices for you, which



Bicycle
accommodation



Bicycle packages



Cycle routes



Cycle action

サイクルフレンドリー
ホテルを認定・紹介

チェコ 2種類のサイクルルート表示

チェコ全土をカバーする基幹ルート、長距離ルート、接続ルートで構成。
上記ルートは、様々な地元の観光ルートや周回、マウンテンバイク用コースによって補完。

①観光トレイルルート

トレイルのサイクリング・ルートは、チェコのハイキング・トレイルのマークに似ているが、白ではなく**黄色のストライプが入った特別な観光マーク**で表示。

チェコ観光クラブ (Klub českých turistů) が管理



②舗装されたルート

一般道路、サイクリングロード、舗装された路面を走るサイクリング・ルートは、一般的に**黄色い交通標識**で示され、サイクリング・ルートの番号と最寄りの方角、距離が表示される。



例)ドイツの取り組み(1)

ドイツは10本のEuroVeloルートがある。
今回走ったエルベ川沿いのEuroVelo7はサンルート

Dルート(次のスライドで説明)を介して、ドイツ各地域は同時にヨーロッパ全体のユーロベロ・ネットワークに統合されている。



-  **2** Capitals Route
-  **3** Pilgrims Route
-  **4** Central Europe Route
-  **5** Via Romea (Francigena)
-  **6** Atlantic – Black Sea
-  **7** Sun Route
-  **10** Baltic Sea Cycle Route
-  **12** North Sea Cycle Route
-  **13** Iron Curtain Trail
-  **15** Rhine Cycle Route

ドイツの取り組み(2) Dルート



ドイツには320以上のサイクリングルートがある。

様々な観光サイクリング・ルート沿いのお店、カフェ、レストラン、宿泊施設、観光スポットがDルートで結ばれ、サイクリストに幅広いサービスと全く新しい体験を提供している。

Dルート1から6は西から東へ、Dルート7から12は北から南へ走り、既存の長距離サイクリング・ルートをつないでいる。

D-Route 1: North Sea Coast Route

D-Route 2: Baltic Coast Route

D-Route 3: European Route

D-Route 4: Mittelland-Route

D-Route 5: Saar-Mosel-Main

D-Route 6: Danube Route

D-Route 7: Pilgrimage Route

D-Route 8: Rhine Route

D-Route 9: Weser - Romantic Route

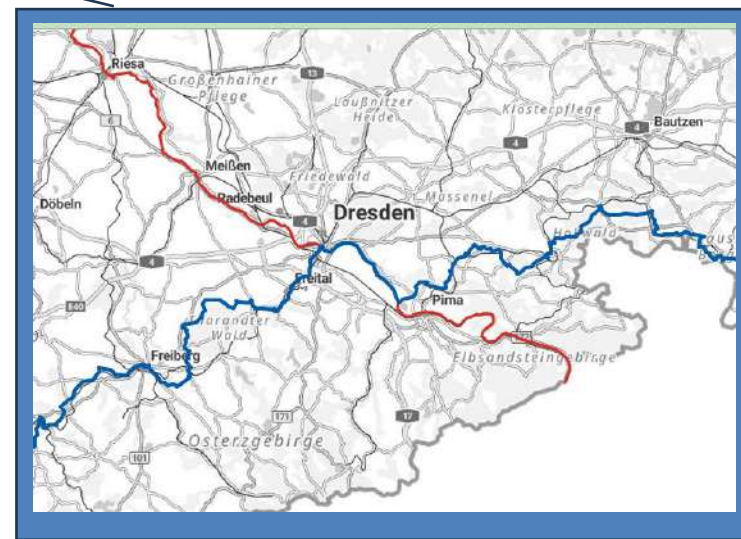
D-Route 10: Elbe Cycle Route

D-Route 11: Baltic Sea - Upper Bavaria

D-Route 12: Oder-Neiße Cycle Route



レジャー・サイクリングや旅行の市場も大きい。
ドイツ人の4人に3人が、毎日の通勤、スポーツ、旅行（短距離、日帰り、長距離）に自転車を使っている。



Bag & Bike

サイクリングを楽しむために欠かせない
サービスを総合的に提供

- 荷物移送
- サポートカー業務
- メンテナンス、修理
- グループ送迎(旅客輸送)


www.bagandbike.cz

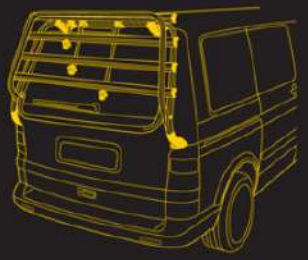




× サイクリスト、自転車、電動自転車、自転車トレーラー、
タンDEM、ハンドバイク、荷物、ボートの輸送...

ディエチーンとその周辺からのサイクリスト、観光客、カヌー、
ボヘミア・スイス国立公園への訪問者、ブラハドレスデン区間の
ヴルタヴァ・トレイルとエルベ・トレイルのサイクリスト、ペイ
ンターズ・パスの観光客、チェコ共和国だけでなくヨーロッパ全
土の長距離サイクリストのための交通手段を提供しています。

サイクリスト、観光客、カヌーイストは、当社のサービスを利用
して、計画されたルート スタートまたは目的地まで
輸送したり、荷物を輸送したり、護衛車両として、またはパンク、距離の判断ミス、悪天
候、その他の予測不可能な出来事が発生した場合に、それらを輸送することができます。



家
**荷物
の輸送**
サイクリストの輸送
フォトギャラリー
**旅客
輸送**
連絡先
Malerweg 

Bag & Bike

家

荷物
の輸送

サイクリストの輸送

フォトギャラリー

旅客
輸送

連絡先

荷物の輸送

主にエルベ川とヴルタヴァ川のルート、プラハとドレスデンの間の区間、マラーヴェークルートのハイカーだけでなく、ボヘミアとザクセンのスイス全土で荷物を輸送しています。荷物の輸送は毎日午前9時から午後5時まで可能です。

日付や宿泊施設など、特定のルートを mail@bagandbike.cz して、料金計算をお送りします。価格は、最終的な支払い人数によって異なります。料金をお支払いのお客様は、20kgまでの大きな手荷物1個と10kgまでの小さな手荷物1個、計2個の手荷物を輸送する権利があります。

[運送約款](#)を読むことをお勧めします



- 荷物移送

9時までにホテル指定場所に置く

当日17時までに次のホテルへ配送

Bag & Bike

ウェブサイトより
アルバム

荷物の輸送



EuroVelo7 ルート試走 (6) 実走 市内～EVの連携

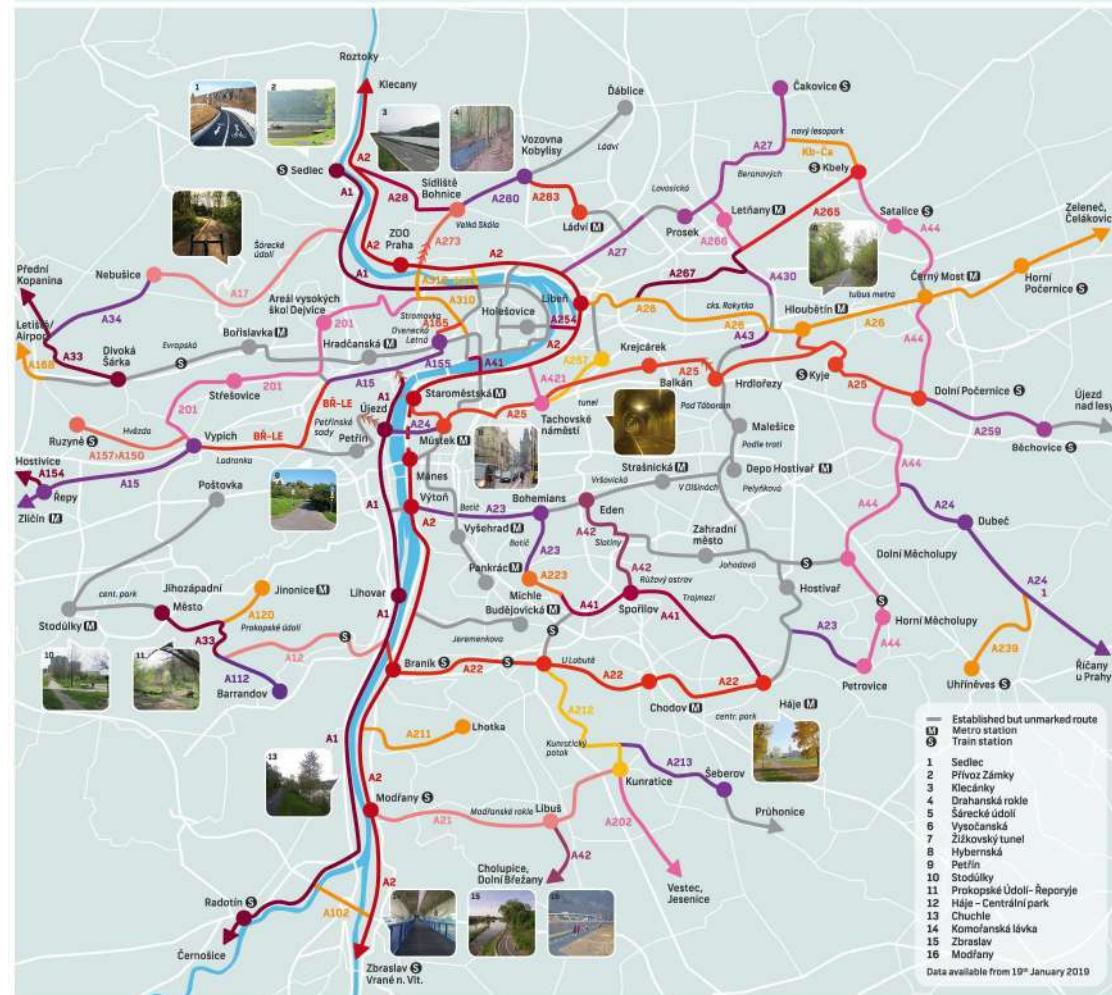
プラハ市内からEuroVelo7に乗る

プラハにはいくつかの国内ルート、緑道、EV4とEV7が通っている。プラハ市内のルートを使い、EVに出るために、プラハ市内の自転車道をうまく使い、EVに誘導している。例えば、以下のような記述で説明している。

- 南西方面(国道3号線)からEV 4を利用する場合は、ラドチンからベロウンカ川とヴァルタヴァ左岸に沿って A1号線を進み、バランドフスキー橋(Barrandovský bridge)でA12号線に乗り換え、ヴァルタヴァ右岸を通過してA2号線で市街地に向かう。
- 北東からのEV 4号線(および国道17号線)の場合は、ルートA26を進み、ホルニー・ポチェルニツェ(Horní Počernice)、チェルニー・モスト(Černý Most)、フロビェティン(Hloubětín)を通り、ロキートカ(Rokytká)川に沿ってリベニ(Libeň)に向かいます。ヴァルタヴァ川(Vltava)に出たら、A2に乗り換えてカルリン(Karlín)を通り、市の中心部へ。
- 北からのEV 7(ヴァルタヴァルート、国道7号線も)は、ルートA2をご利用ください。
- などなど

PRAGUE BY BIKE

For a safe and pleasant cycling experience, prioritise the use of established bicycle routes. You can plan your ride at <http://mapa.prahounakole.cz/#hledani>



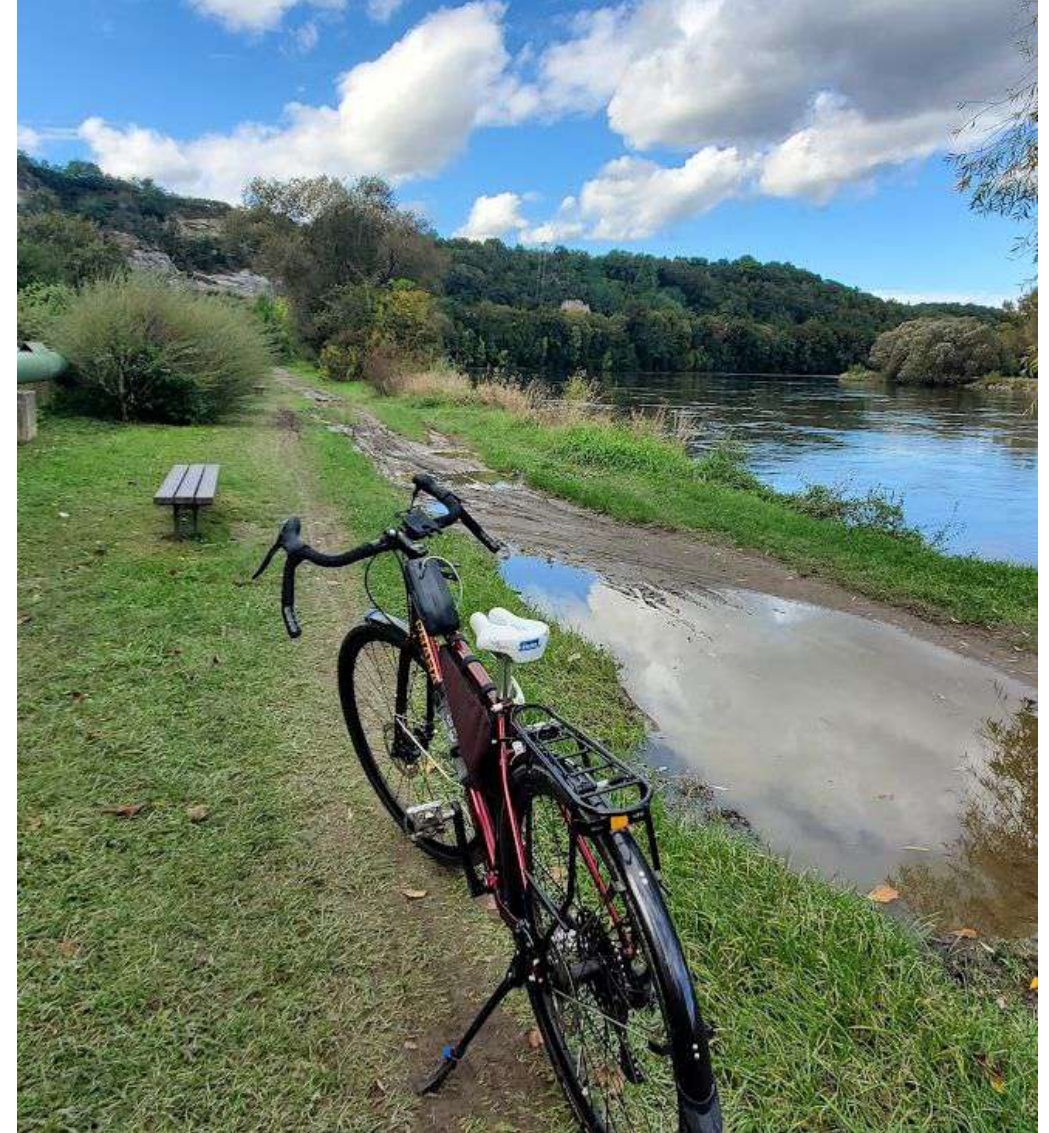
EuroVelo7 ルート試走 (2) 実走 -1 プラハ市内～



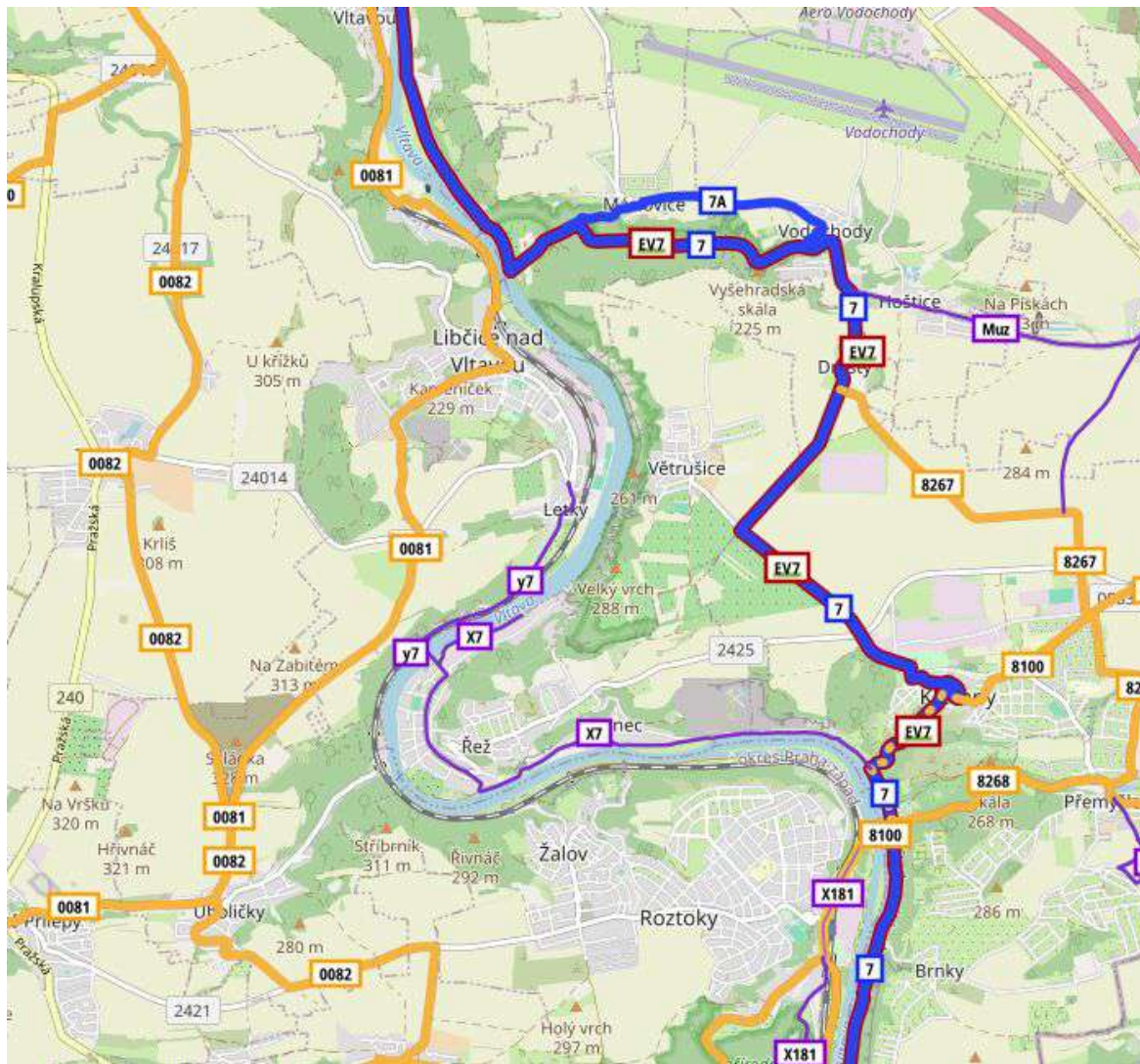
EuroVelo7 ルート試走 (3) 実走 ー路面1 グラベル



チェコのルートで
ある「2」と「7」が
EV7と重なってい
る。



EuroVelo7 ルート試走 (1) 実走 – EV vs 国のルート



国のルートから離れ、様々な景色を堪能してもらう他、EVはわざわざ内陸に入り、町を通し、飲食店、ミュージアム、遺跡、お店、地元との触れ合いを創出している。

(次のスライド参照)

EuroVelo7 ルート試走 (4) 実走 町を通す

“走り抜けるだけではない” 町のショップ、遺跡、カフェ、美術館、モニュメント

走行性のみを追求せず、**地元が通ってほしい道、立ち寄ってほしい場所** にサイクリストを誘導

町の中を通す



動物園、美術館、遺跡、テーマパーク、公園
などできるだけ立ち寄り滞在時間を延ばす
写真はレース会場



カフェ、正面には地元のお店



教会とその内部



EuroVelo7 ルート試走 (13) 実走 -国境



ドイツに入った
途端、EVの看板
が無くなり、
Dルート of 看板
に

ECSとは？

EuroVeloやその他のサイクリングルートの品質 を評価するために設計された包括的な**方法論**

- 計画ツールとして- 質の高いサイクルートを**開発するための最小要件**を提示
- 評価ツールとして- 既存の自転車ルートの**品質を評価し、改善計画を策定**
- コミュニケーションツールとして- ECSの方法論に基づき、**EuroVeloルートの品質を保証**



ECSの利点と特異性

- 自転車による調査で、**ユーザーの視点にフォーカス**。
- 調査を依頼する組織の **特定のニーズに適応**
(標識の位置や交通量など、特定の側面か、一般的に評価か)。
- ヨーロッパ規模で開発されたため、**ルートの品質を他の国/地域などと比較しやすい**

ECSの主な目的

•すべてのルートの品質向上

- 詳細なGISデータベースによる**分析**が可能
- さまざまなユーザーグループに焦点を当て対応する**柔軟性**
- 意思決定者がソリューションに**投資する動機付け**が可能になる

EuroVeloルートセクション の品質ラベルの提供

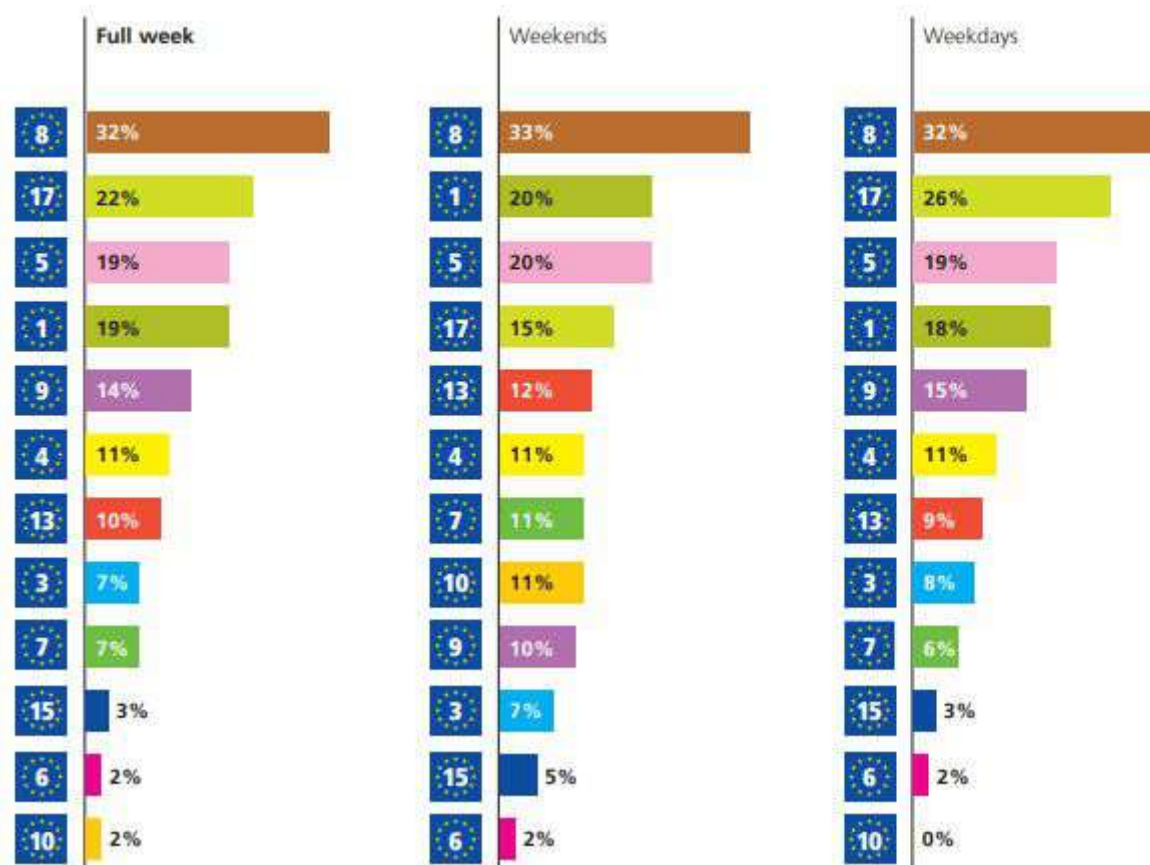
- EuroVeloの**認証**
- プロモーションツール
- 自転車観光客にとって良い動議付け

参考:導入効果 自転車利活用 EuroVelo Usage Monitoring Report (2023)

季節(月)別、国別、ユーロベロ別にサイクリストの推移を調査

- 全てのルートで2019年と比較して2023年の自転車利用が増加
- ユーロヴェロ8 - 地中海ルート(32%増)
ユーロヴェロ17 - (22%増)
ユーロヴェロ5 - (19%増)
- 多くのルートで平日利用、週末利用の両方が増加(特にEuroVelo 17は平日の増加率が高く、EuroVelo 10は週末の増加率が高い)
ユーロベロ8 - 地中海サイクルルートで、2019年と比較して2023年には週末で33%
平日で32%増加する。

TRAFFIC ON INDIVIDUAL EUROVELO ROUTES
CHANGE 2023 VS 2019



韓国や台湾でもサイクリングルートの整備が進んでいます。

